

1	審議会名	平成25年度第3回城南公民館運営審議会
2	日時	平成26年3月5日(水) 午前9時30分から午後00時00分まで
3	会場	上田市城南公民館1階まちづくり活動拠点室
4	出席者	荒木昇会長、岩下和江副会長、有賀西夫委員、関泉委員、堀内泰委員
5	市側出席者	池田館長、滝沢次長、小林統括主査、中村実社会教育導員
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年3月10日

協議事項等

1 開 会 (滝沢次長)

2 荒木会長あいさつ

先日の大雪は大変であった。本年公民館に多く接することで、いろいろな問題点があることもわかってきた。そんな中本日は、先日の大雪等非常時において利用者団体が手伝えることはないか、そんなことも今回協議していきたい。

池田館長あいさつ

先日の大雪は公民館にも影響があったので、後ほど報告させてもらいたい。年度末になってきたので本年の活動について協議願いたい。

3 審議事項

(1) 平成25年度実施事業概要と検証について

(ア) 分館振興、学社連携、社会教育活性化プログラム、体育系事業概要

(委員) 「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」のメンバー構成は。

(事務局) 自治連、防犯・防災協議会、まちづくり協議会、女性消防隊、分館長会等幅広い構成となっている。

(イ) 公民館主催講座事業概要

(委員) 中止とした講座の連絡方法はどのようにしているか。

(事務局) 中止と判断した日以降に電話で連絡し、つかない場合は文書で通知している。

(委員) 責任者には連絡しているのか。

(事務局) 代表者がいる場合は、連絡網でまわしてもらっている。

(ウ) ことぶき大学事業概要

(委員) 高齢の方がいるようだが通学方法はどのようにしているのか。

(事務局) 84歳が最高齢である。昨年は90歳の方がいた。なお、通学、応募も自分で行うことを原則としている。

(委員) 関心のある授業内容が多いが、毎年中味が変わっていくのか。

(事務局) 学生のアンケートも参考にしている。なお、25年度の授業内容は評価が高かった。

(委員) 来年度の募集方法はどうか。

(事務局) 中央公民館に出向いて申込みをしてもらおう。あえて1箇所で行っている。例年抽選になる。

(館長) 以前よりも抽選で漏れる人が少なくなっている。

(委員) 年齢制限はあるか

(事務局) 上限は無いが、60歳以上からとなっている。

(委員) シニア大学でも応募が少なくなっているし年齢も上がってきている。

65歳まで勤めている人が多くなっているのも要因。

(事務局) 授業内容については、自然系と文科系を交互に行っている。

(エ) 福寿クラブ(高齢者団体)関連事業概要

(館 長) 連合会に加盟していない地域の住民の参加に抵抗を感じている人がいる。

城南地区福寿クラブも城下地区からの加入はなく、川辺・泉田地区のみとなっている。公民館事業も役員の方に準備をしてもらっている。当日参加している人が何もしていないことに対する不満もあるようだ。加入しない理由に役員の大変さもある。

(委 員) 負担金の関係も理由のひとつではないか。私の自治会も以前加入していたが、会長があまりにも大変で、その会長が退任したと同時に脱退をした。

(館 長) 連合会に入会することまた、役員になることでメリットが得られるようなことがあればよいので、これから考えていきたい。

(委 員) 老人会の活動も前から比べると少なくなってきたように感じる。事業も旅行のみというところもあるようで、いろいろと不満を持っている人もいるようだ。

またマレットのみの活動だと足腰の悪い人は活動ができないで、そういった方を対象とした事業の検討も必要であるし、会の事務局の方で参加しやすい雰囲気を作っていくことも重要である。

(館 長) 「新春笑いを楽しむ会」も事前申込みは多かったが、当日忘れてしまった人も多かった。

(委 員) 来年の福寿クラブの事業で健康、介護相談事業を予定しているが、孫を対象とした救急コーナーの設置、小児・幼児向け講習会も良いのではないかと。祖母、祖父が知識として持っていることも必要だと思う。

(オ) 解放子ども会事業概要

(事務局) 城南の活動報告にもあるが、26年度の活動は続けられるが、それ以降、会員の加入が現在のところ見込まれていない。歴史のある子ども会の存続に係る課題となっている。

(委 員) 出生率の減少、親の意識の変化もある。

(委 員) 国からの予算も減少している中、公民館のみで課題を解決できない。

(事務局) 生涯学習課、指導委員会、運営委員会とも連携して進めていきたい。

(2) 城南公民館の使用方法について

(委 員) 冒頭にもお願いしたが、今回の大雪等非常時には、公民館職員のみでの対応は無理な場合があるので、利用者団体に手伝いをお願いすることについて協議をお願いしたい。

(委 員) 他公民館では、館内の掃除、草刈をお願いしているところもある。

他公民館の利用者団体が活動していた時には、掃除用草刈用として会費を徴収していた。声をかけるにも半日単位とかでどうか。

(館 長) 今回の大雪でも他館では、利用者団体に協力してもらったところもある。

今回委員の皆様にも意見をいただいたので、次回の利用者団体会議に諮っていききたい。

(委 員) ある程度たたき台のルールを作っておいてもらいたい。

(委 員) 雪かきなどの道具を揃えるなど問題もある。私の自治会でも道具が足りなかった。

(館 長) 今回の大雪では、除雪した処理について職員では無理であったため、業者をお願いした。また、他部署からも応援してもらい雪かきをした。館内清掃についても、今後必要になってくると思う。

(委 員) 利用した後は、ゴミが結構出るので掃除も必要になってくるかと思う。

(委 員) 今回の大雪を踏まえて、分館役員からもお願いすることを今後検討していくことも必要ではないか。

(館 長) 利用者団体が今後も増え続け学習室の使用に支障がでてきた場合、城南地区の住民が会員になっている団体を優先することも今後考えていかなければならない。

(委 員) 他地域にも公民館があるので、そういったこともいたしかたない。

(委員) 私の利用者団体では、他地域の方も入っているが、活動して得たことを地域に戻ってクラブ等を立ち上げ広めていってもらっているなどのメリットもある。

4 その他

(委員) 2月22日(土)に開催された上小・東御公民館関係者研修会の茨城大学長谷川准教授の「活力ある地域づくりと公民館の役割」が大変良かったが、子どもの関わり方についてのところが時間の関係で省略となってしまった。機会があれば公民館でも聞ければと思う。

(館長) 早いもので委員さんの改選時期が10月となっている。条例上3期までとなっているので、残念ながら3名の委員さんが改選となる。

(委員) 先ほども話をしたが、65歳まで働いている人も多くなってきているので、そのあたりも考慮が必要である。

5 今後の日程

- (1) 3月7日(金) 人権同和教育実務研修会 大ホール
- (2) 3月11日(火) 城南地区生活改善委員会 まちづくり活動拠点会議室
- (3) 4月2日(水) 午後7時から人権同和基礎講座

会場：大ホール

講師 NPO法人 人権センターながの
事務局長 高橋 典男さん

演題 「伝えたいこと ～部落問題・その現実から～」
質疑応答

6 閉会

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。

